

令和4年度 滋賀文教短期大学 国文学科 教学に関する体系図／3つのポリシーの相関図

学校法人 松翠学園

○教育理念 「教育は人にあり、国家の未来は教育にかかっている。教育の向上には、まず、教育者の養成が重要である。」

○教学に関する方針

1. 期待に応える学園	ステークホルダー（生徒・学生・保護者・地域等）の期待に応える学園となるために、学生・生徒の自己実現を促す教育を実践すること。
2. 選ばれる学園	プラン1により選ばれる学園となるために、教育内容やその成果を積極的に発信すること。
3. 教職員の人材育成	改革の基盤となる人材を養成するために、組織的且つ体系的な研修を実施する。また、職能の開発のみならず人材の効率化を図る人事を行うこと。
4. 学園間の教育連携	本プランを達成するために、高校間（岐阜第一高校及び岐阜女子高校）、高大間（高校及び滋賀文教短大）で連携をはかり、あらゆる教育資源を効果的に活用すること。
5. 地域社会に対する貢献	教育機関としての社会的責任を果たすこと及び地域の理解信頼を得るために、教育資源を積極的に地域に活用すること。
6. 新しい学びへの環境整備	新しい時代（Society 5.0 等）の学びに対応するために、教育手法の向上及び施設設備の充実に早期に取り組むこと。
7. 国際交流の推進	主体的に学び続ける態度、多様性の理解といった新しい時代に求められる素養を養成するために、海外姉妹校と連携した体験・探求学習の場を創出すること。

滋賀文教短期大学

○建学の精神 「知育」・「徳育」・「体育」の鼎立と調和の取れた人間形成

○中期ビジョン（令和6年度の状態目標） 実名ともに魅力ある教育を創出し続ける元気のよい短大となっている。

「実」	・教育内容の充実、質向上をはかっている。 ・教学マネジメントを確立し、機能させている。	「名」	・教育情報の発信により知名度、社会的存在感の向上をはかっている。	「魅力ある」	・学生、社会のニーズに合った教育を実施・開発している。 ・差別化している。選ばれる理由を磨いている。創っている。
「教育」	・教育・人材養成に力点を置き実績をあげている。 ・DPを達成させるため、課程内外の取り組みを体系化している。	「創出」	・全学体制で既存教育の向上やプログラム開発に取り組んでいる。 ・点検・評価に基づいた、創出するための削減をはかっている。	「し続ける」	・小規模のスケールメリットを生かしてスピーディーに実行している。 ・政策決定、点検・評価等にIRを積極的に活用している。
「元気のよい」	・主体性の養成に取り組み、実績をあげている。 ・既存のブランド力（アットホーム）の向上をはかっている。	「短大」	・短期大学の役割と機能を果たしている。（職業/地域人材の養成等） ・キャリア教育、就職支援の充実により、実績をあげている。		

国文学科

○教育目的 国文学科の教育課程で身につけた幅広い知識と教養をもって社会で自立できる人材を養成することを教育目的とする。

教 育 目 標	学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)	入学者受け入れ・実施の方針 (アドミッション・ポリシー)
教育目標① 確かな倫理観と使命感を規範に、様々な課題に対する解決に取り組むことができる主体性を身につける。	DP1 【主体性】【倫理観・使命感】 主体性及び倫理観・使命感に関する学修成果を身につけている。 本学の学修で獲得した力(DPに定める力)をもって社会で自立するために、 主体性 は最も重要な力です。自ら挑戦し、成功や失敗の経験を繰り返すことで生涯成長し続けることができます。 また、主体的な行動の規範になるのは、人としての 倫理観 と、社会人としての 使命感 です。	<編成の方針> 国文学科は、学生がディプロマ・ポリシーを達成し、学修成果を獲得できるよう、次のような教育課程を編成します。 ① 学修や社会参画への 主体性 及び社会で自立しようとする 使命感 を向上させるための科目を設置し、必修とします。 ② 倫理観 を育むため、今日に至る日本人の考え方や文化を学ぶことのできる科目を設置します。 ③ 建学の精神に基づく本学が目指す人材像の理解と、大学で学修するための基礎的な 知識・技能 及び態度を身に付	<受け入れの方針> 国文学科は、文学、文化、歴史などに興味がある人はもちろん、学びを通して社会人としての素養を身につけ、将来は幅広い分野で活躍したいと考える人に入学してほしい学科です。 国文学科では、単に文学だけを学ぶのではなく、文学の学びを通して身につけた力をもって、社会で自立できる人材になれることを目的としています。そのため、社会人として求められる幅広い力や、キャリア形成に役立つ力を養成するための教育課程が設定されています。 このようなことから、国文学科では以下の能力や態度を身につけている学生を受け入れます。

																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					</
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----
